

令和3(2021)年11月12日

保護者の皆様

豊能町立光風台小学校

校長 内野 慎也

## 「令和3年度全国学力・学習状況調査」結果および今後の取り組みについて

晩秋の候、保護者の皆様にはますます御健勝のこととお慶び申し上げます。平素は、本校の教育推進にご理解・ご協力を賜り心より感謝申し上げます。さて、本年度4月に本校6年生に実施いたしました「令和3年度全国学力・学習状況調査」の概況について、分析結果をまとめましたので、お知らせ致します。調査内容は国語、算数と児童質問紙（生活習慣や学習に対する意識等）で、調査問題、分析結果等の内容は国立教育政策研究所のHP、豊能町の結果概要との取組み等は町のHPで公表されておりますので、併せてご覧ください。

本校の結果ですが、国語、算数の平均正答率は、二教科とも大阪府、全国平均を上回りました。ただし、この調査で得られる結果は学力の一部です。この調査結果を一人ひとりの児童の課題分析に活用し、授業改善に取り組んでいきたいと思っております。

### ■教科に関する調査の結果（全国と比較して○…多くの児童ができている点 ●多くの児童が課題のある点）

【国語】（概要）「書くこと」の領域以外の観点で全国平均を上回る結果でした。特に「読むこと」領域において、10ポイント以上全国平均を上回りました。

○複数の資料を使った理由の説明として適切なものを選ぶ問題1二（正答率88.9%）

○資料の文章が何についてどのように書かれているかの説明として適切なものを選ぶ問題2一（正答率97.2%）

●資料を読み、問われているものが、何をヒントに、どのような仕組みのものを作り出したのかについて、まとめて文章にする（50字以上80字以内）問題2三（正答率44.4%）

●資料を読み、問われているものが、どのように使われているのかをまとめて文章にする（50字以上70字以内）問題2四（正答率33.3%）

【算数】（概要）「変化と関係」の領域以外の観点で全国平均を上回る結果でした。「量と測定」「図形」の領域において、7ポイント以上全国平均を上回りました。

○棒グラフから、数量を読み取ることができる問題3（1）（正答率97.2%）

○棒グラフから、項目間の関係を読み取ることができる問題3（2）（正答率94.4%）

○速さが一定であることを基に、道のりと時間の関係について考察することができる問題1（2）（正答率88.9%）

●図形を構成する要素などに着目し、図形の構成の仕方を捉えて、面積の求め方と答えを記述できる問題2（3）（正答率47.2%）

●帯グラフで表された複数のデータを比較し、示された特徴をもった項目とその割合を記述できる問題3（4）（正答率50%）

■質問紙調査の結果（全国と比較して ○…肯定的回答が多い項目 ●…肯定的回答が少ない項目）

【学校生活について】

- あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか（肯定的回答75.6%）
- 新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、勉強について不安を感じましたか（肯定的回答43.2%—不安を感じていない児童が多い）
- 学校に行くのは楽しいと思いますか（肯定的回答73%）
- 友達と協力するのは楽しいと思いますか（肯定的回答73%）

【学習について】

- 国語の授業の内容はよくわかりますか（肯定的回答89.1%）
- 算数の授業の内容はよくわかりますか（肯定的回答86.5%）
- 学習の中でコンピュータなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか（肯定的回答97.3%）
- 学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか（肯定的回答70.2%）
- 5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していましたか（肯定的回答51.3%）

【生活の様子について】

- 家で自分で計画を立てて勉強をしていますか（肯定的回答78.3%）
- 携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか（肯定的回答72.9%）
- 自分にはよいところがあると思いますか（肯定的回答40.5%）
- 新聞を読んでいますか（肯定的回答10.8%）

■今後の取組み

【学校での教育活動について】

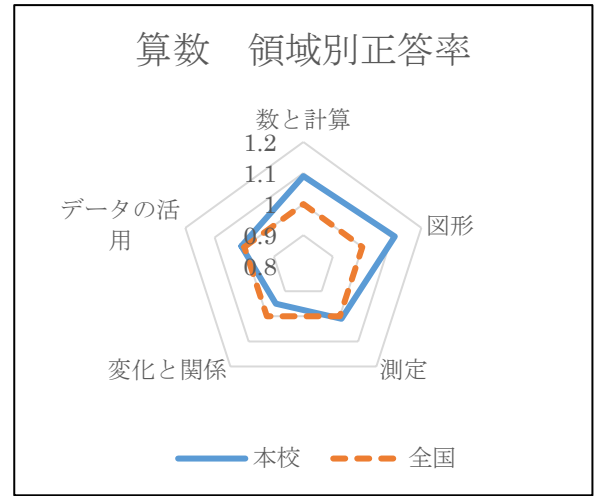
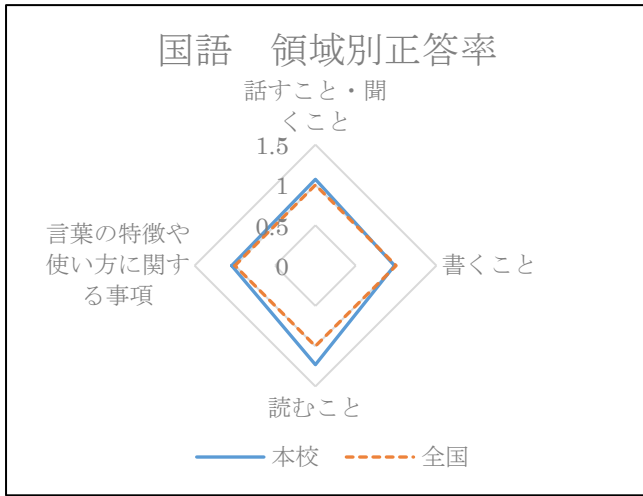
本校がこれまで実践してきた言語活動の充実をもとにした「主体的・対話的で深い学び」の授業展開をさらに充実させていく。その中で特に「書くこと」を中心に、自分の考えていることを正確に表現できる言葉選びや文章表現をどの学習活動の中でも繰り返し行っていく。また、その中で基礎的な知識を実際の生活で生かせるよう、活用する場面を多く設定することや複数の資料を読み取り、比較しながら内容を読み取ったり、論理的に説明したりする活動を大切にしていきます。

【家庭での過ごし方について】

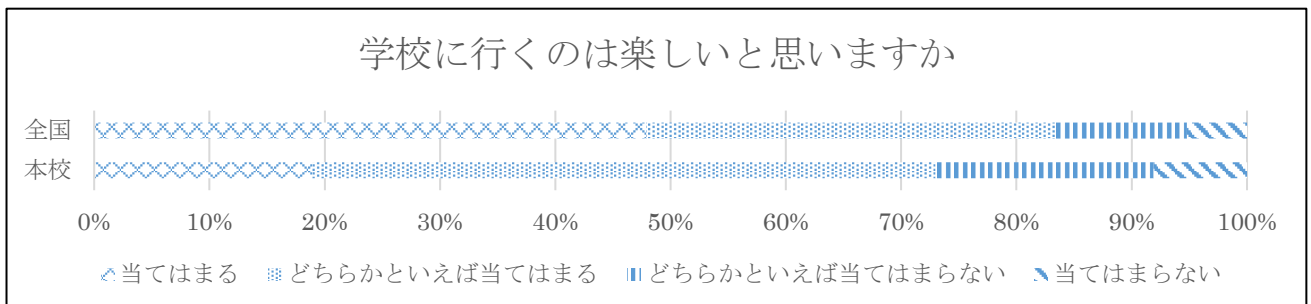
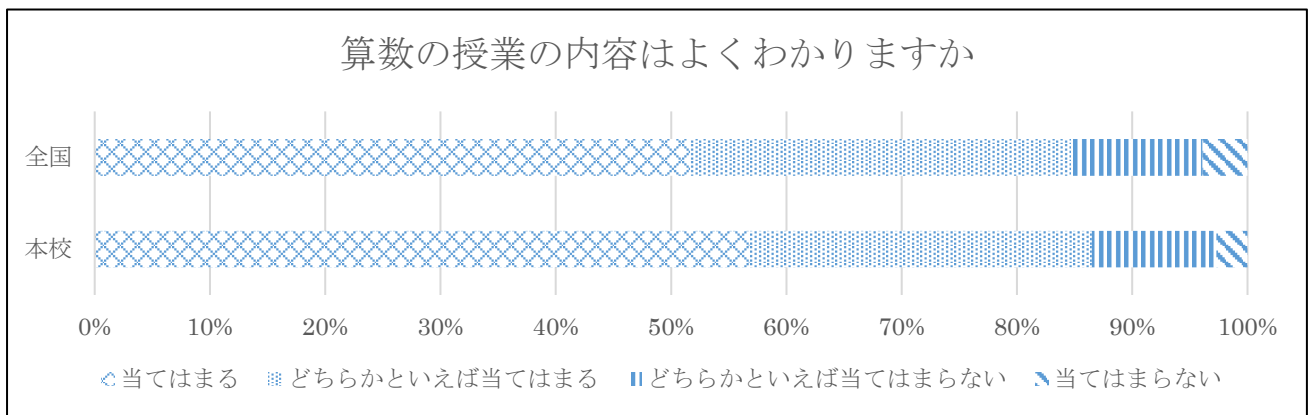
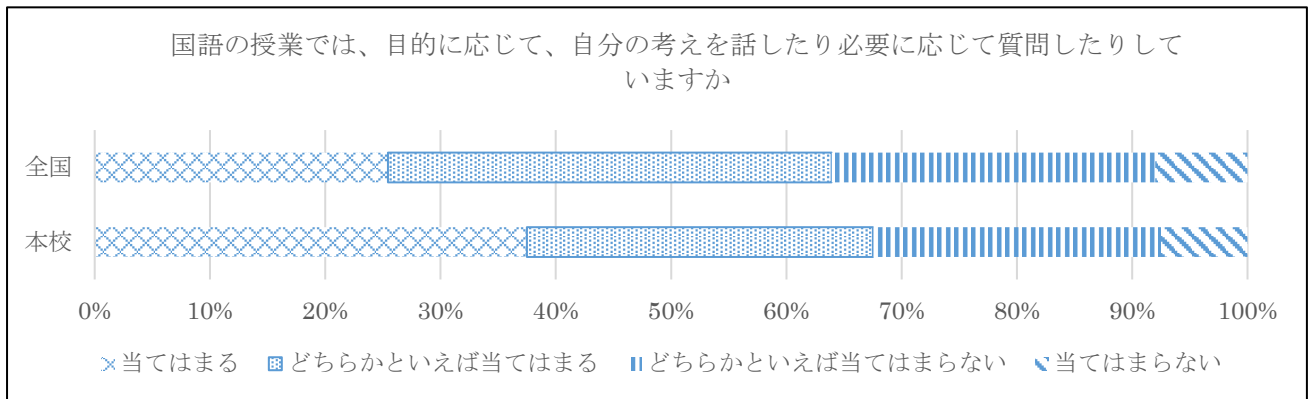
あらためて、地域や家庭のご協力に支えられていることがよくわかる結果でした。学校目標である「楽しくてたまらない学校」を一人ひとりの児童が実感できるよう、重点目標である「自分も他の人も大切に、積極的に人とつながり合う」取組みと「自ら考え、失敗を恐れずに挑戦する」取組みを各ご家庭に学校だより等を活用して、さらなる情報発信していく。また、友達や周りの人と「助け合い・関わり合い・高め合う」ことの楽しさを学びながら、自己有用感を高め、学校以外でも自信をもっている様々なことに挑戦する児童を育てていきます。

【全体の概要】

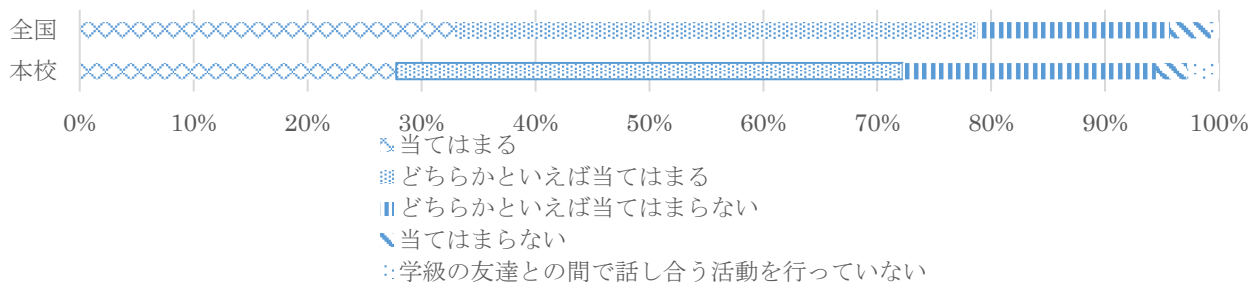
(教科の領域別結果グラフ)



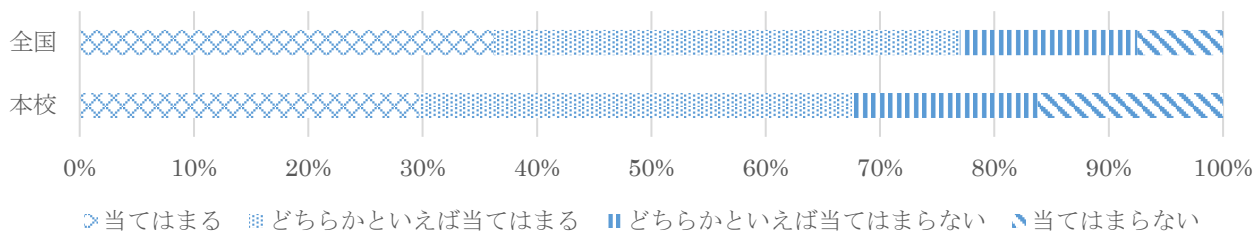
(質問紙結果グラフ (抜粋))



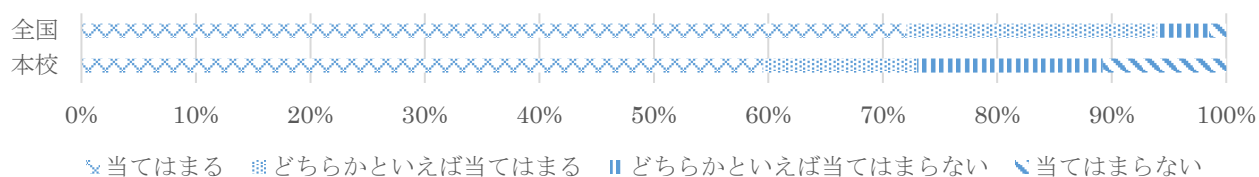
学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか



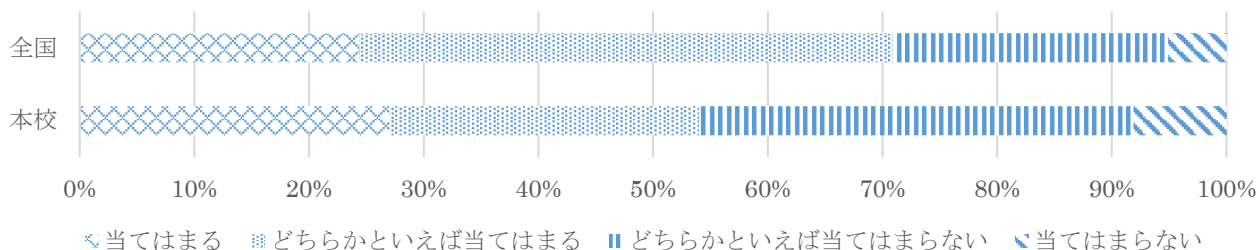
自分には、よいところがあると思いますか



友だちと協力するのは楽しいと思いますか



難しいことでも、失敗を恐れずに挑戦していますか



令和3年度全国学力・学習状況調査の問題については、国立教育政策研究所のホームページ (<https://www.nier.go.jp/21chousa/21chousa.htm>) に掲載されていますので、そちらをご覧ください。また、豊能町全体の分析結果については、町ホームページに掲載されています。